

4月

月間指導計画

0歳児



保育目標		新しい環境や保育者に慣れ、安定感をもって過ごす。			
子どもの姿		園生活に慣れず泣き続けたり、食事やミルクが摂れないこともある。 気になる玩具に手を伸ばし、触れたり遊んでみようしたりする。 戸外に出ると気持ちが落ち着き、笑顔の見られる子どももいる。			
年間区別		ねらい	環境・構成	予想される子どもの活動	配慮事項
養護	生命	落ち着いた環境の中で、保育者に見守られながら落ち着いて過ごせるようにする。	入園前の生活リズムや発達過程、ひとりひとりの子どもの個性を大切にしながらゆったりと過ごせるようにする。	慣れない環境に泣いてしまい、ミルクや食事がとれなかったりすることがある。 泣き疲れて眠ってしまう。	家庭と連絡を密にとり、ひとりひとりに合わせてゆったりと過ごせるようにする
	情緒	保育者との応答的なかかわりの中で、安心して過ごす。	特定の保育士がかかわることで、少しずつ慣れていけるようにする。	泣いてしまい保育士から離れることができない。	安定感をもって過ごせるよう、一人一人の気持ちに寄り添う。
教育	健康	機嫌のよい時には、寝返りや腹ばい、ハイハイなど体を動かして楽しむ。	子ども達が興味を持ち、かつ安全な玩具を用意する。 清潔の徹底、危険箇所の把握を行う。	気になる玩具に手を伸ばそうとする。 玩具を手にとって遊んでみようとする。	子どもと視線を合わせ一緒に遊びながら親しんでいく。
	人間関係	特定保育士にあやしてもらうことを喜んだり、泣いたりして気持ちを伝えようとする。	ふれあい遊びを積極的に取り入れる。	特定の保育士とのやり取りを喜ぶようになる。 不快なことがあると泣く。	特定な保育士がかかわることで安定感をもって過ごせるようにする。
	環境	遊びの中で様々なものに触れる。	硬いもの、柔らかいものなど様々な感触のものを用意する。	何でも口に入れて確かめようとする。	子どもの探求心を大切にしながら、誤飲には十分注意する。
	言語	保育者との応答的なかかわりの中で、クーイングや喃語を話す。	子どもからの働きかけに丁寧に答えることで、発語の意欲を育てる。	機嫌が良い時にはクーイングや喃語を積極的に話す。	子どもの発語を繰り返したりしながら、応答的なかかわりを行う。
	表現	保育者と一緒に手足を活発に動かして遊ぶ。	音楽を流したり歌を歌ったりする。 子ども達が自由に体を使って遊べるように安全な環境を整える。	好きな遊びを見つけると活発に遊んだり、好きな音楽がかかると静かになったり、手足をバタバタさせて喜んだりする。	一緒に楽しむことで、子どもの気持ちに寄り添っていく。
食育		安心した環境の中で、ミルクを飲んだり離乳食を食べたりする。	個々の発達に合わせた食事を提供する。 積極的に手づかみ食べができるようにする	慣れない環境での食事ができない子どももいる。	子どもの様子に合わせて無理をせず少しずつ食事をすすめていく。
健康・安全		慣れない環境に疲れを感じた時には休息が取れるような環境を整える。 感染症を防ぐため、玩具の消毒を徹底する。			
保護者支援		登降園時や連絡帳を通して園での子供の様子を伝えたり、家庭での子供の様子を伺ったりすることで子どもの様子を共有する。 保護者からの質問に丁寧に答え、保護者の不安も取り除けるようにしていく。			